

## Imaging Team

### 掲載内容

#### 営業情報

- MPDOC パッケージソフトウェアの販売開始について
- Photometrics 社製カメラ用 PCI インターフェイスボードについて

#### 技術・サポート情報

- Lumencor SPECTRA シリーズ、SORA SE において、リモートコントローラと PC の接続を併用することが可能になりました

#### Journal 情報

- 取得済み画像から、Illumination、対物レンズ、X/Y/Z の各座標位置、露光時間を読み出し、撮影設定に反映する Journal について

#### はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

- Show Region Statistics (2)

## 営業情報

### MPDOC パッケージソフトウェアの販売開始について

MetaMorph ソフトウェアの構成を簡略化し、よりパワフルな仕様に改善することを目的に新しく MPDOC パッケージを作成しました。

基本構成としては、従来の MetaMorph Premier ソフトウェア同様に電動顕微鏡制御ドライバ、多次元データ取得/表示機能、スキャンスライド機能、画像分離機能、オートアライメント機能に加え、CCD カメラドライバも含まれています。

解析モジュールとしては、MMPOCH#1、MMPOCH#2 と同様の構成で、#1 には 40154 Neurite Outgrowth/40187 Multi-dimensional Motion Analysis/95000033 Transfluor を#2 には 50124 Multi Wavelength Cell Scoring/40187 Multi-dimensional Motion Analysis/95000033 Transfluor にさらに 2 つのモジュールをお選びいただけますので、Screen Acquisition を組み込み HCS ステーション用ソフトウェアとしてもご利用いただけます。

定価は 200 万円で、ご好評をいただいております MVDOC から MPDOC へのアップグレードに関してはメンテナンス期間中のユーザー様に関しては 170 万円でお受けいたします。

※ 詳細は担当営業までお問い合わせください

### Photometrics 社製カメラ用 PCI インターフェイスボードについて

CoolSNAP-HQ シリーズカメラ用インターフェイスとして PCI バス版のカードを Windows7 PC (32 ビット) で使用する場合にボード上のファームウェアの更新 (ROM 交換) が必要でしたが、この交換ができなくなりました。今後は、新しい PCIe バス対応のボードが必要となります。

定価は 30 万円で Windows7 32 ビットおよび、64 ビットに対応しています。なお、OS の更新にあたりご使用中の Meta シリーズソフトウェアのバージョンによってはソフトウェアもアップデートする必要が生じます。お使いいただいているソフトウェアが対応可能か否かご不明な場合は、ご使用中の ID を当社までご連絡ください。

## 技術・サポート情報

Lumencor SECTRA シリーズ、SORA SE において、リモートコントローラーと PC の接続を併用することが可能になりました

高輝度、高安定、高寿命で高い評判を頂いております Lumencor 社製光源装置 SPECTRA シリーズ、SORA SE シリーズですが、スタンドアロンで使用できる光源輝度などを調整できるリモートコントローラーを、PC 接続時にも使用できることが分かりました。



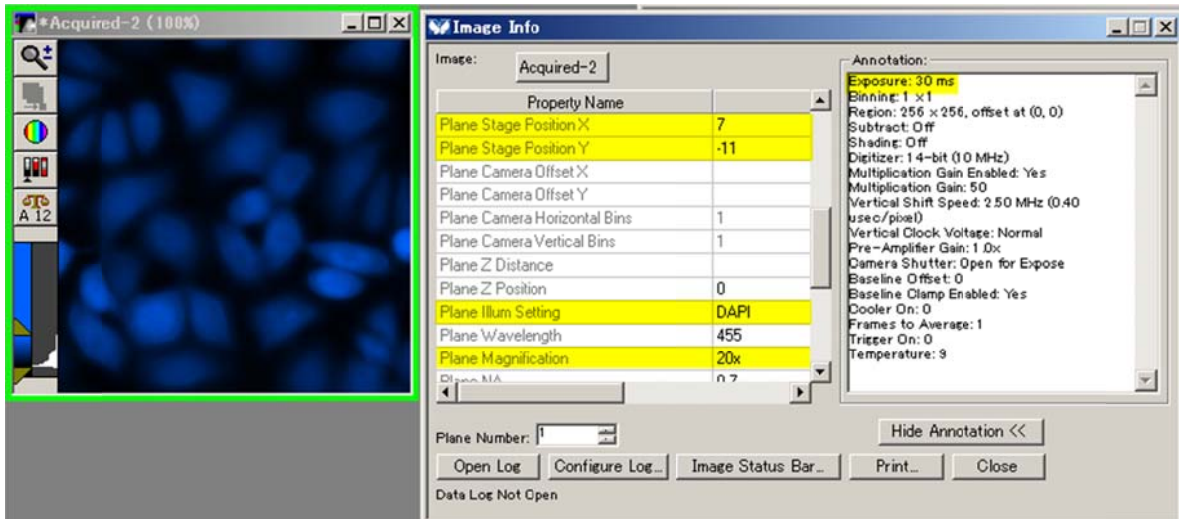
上記の接続方式に従って接続することで、PC での制御と、RCA(リモコン)での制御を併用することが可能です。

なお、RCA→PC への USB mini ケーブルで接続する場合、ドライバが必要となりますが、これは従来も製品に CD-ROM で含まれている USB→RS232C アダプタのドライバをインストールすることで使用可能です。

## 技術・サポート情報

取得済み画像から、Illumination、対物レンズ、X/Y/Z の各座標位置、露光時間を読み出し、撮影設定に反映する Journal について

これまでに、撮影した画像を Load した際、「この画像を撮った時の設定で撮影を行いたい」というニーズが度々ございましたので、Journal で作成いたしました。



この度作成した Journal では撮影済みの画像を Load し、Journal を実行することで、画像に記述されている各種情報を読み出し、その後、それらの情報 (Illumination、対物レンズや XYZ 座標、露光時間) をその画像の物と同じように設定を変更します。

これにより、過去データを参照し、同じ撮影条件で簡単に撮影することが可能です

## はじめの一步 (MetaMorph 機能紹介)

### Show Region Statistics (2)

SalesNote FY1308 で Show Region Statistics の Entire Image について説明いたしましたが、今回は Active Region について説明いたします。

計測したい画像中に Region (興味領域) を作成します。

(複数の Region を作成している場合は、Active Region になっているもの (点線の領域) が有効になります)

Show Region Statistics の Measure で Active Region を選択します。

表示されます数値結果が、選択されている Active Region 内の結果になります。

画像内の興味領域の面積、興味領域内の平均輝度、総輝度、最小輝度、最大輝度などを確認することができます。

Spatial Statistics	
Image Calibration:	1 pixel/pixel
Left	66.00
Top	74.00
Width	165.00
Height	154.00
Area	2541.000
Perimeter	638.00
Threshold Area	0.00
NThreshold Area	0.00

Intensity Statistics	
Average	154.82
Standard Deviation	76.77
Signal/Noise	2.02
Integrated	3933972.00
Minimum	0.00
Maximum	255.00

輝度情報を元に着目領域を設定したい場合は、画像に閾値(Threshold)を設定します。興味領域内の Threshold 面積(Threshold Area)、興味領域の面積に対する Threshold 面積の割合(%Threshold Area)が確認できます。

また、Use Threshold にチェックを入れますと、輝度情報が興味領域全体では無く、Threshold 設定されている部分のみの値になります。

これを利用しますと、選択した興味領域内で光っている部分の面積、興味領域の面積に対して光っているとところの割合を求めることができます。

Spatial Statistics	
Image Calibration:	1 pixel/pixel
Left	69.00
Top	74.00
Width	165.00
Height	154.00
Area	2541.000
Perimeter	638.00
Threshold Area	4645.00
NThreshold Area	18.28

Intensity Statistics	
Average	17.96
Standard Deviation	31.72
Signal/Noise	0.57
Integrated	83421.00
Minimum	0.00
Maximum	99.00